

警告

- 草や木の近くに器具を設置する場合は、除草剤や肥料がかからないようにしてください。万が一、器具に除草剤や肥料がかかってしまった場合、水で洗い流してください。除草剤や肥料により器具が腐食し、浸水による感電・不点の原因となります。
- シースの無い電源線接続箇所からシースの部分まで、全体を自己融着テープなど(別途)で巻いてから絶縁テープなど(別途)で処理し防水対策を行う。接続部は上向きとし、電線と電線の間隙から浸水しないようにする。不備があると感電・火災・浸水の原因となります。
- 単線とより線の直線接続(ねじり接続など)はしない。必ず専用工具で圧着すること。感電・火災の原因となります。
- 電源電線の接続は確実に。接続に不備があると感電の原因となります。
- 口出し線を結線する際、アームなどの周辺部品に巻きつけないでください。角度調整で灯具を動かす際、他部品にケーブルが挟まり、感電・不点の原因となります。

注意

- 60m/s仕様です。これ以上の風速の影響を受ける場所では、使用しないでください。器具落下の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧 $\pm 6\%$)、周波数で使用すること。指定外の電源電圧・周波数で使用されますと感電・火災の原因となります。
- 電源線は600Vビニル絶縁ビニルキャブタイヤケーブルまたは600V二種EPゴム絶縁クロロプレンキャブタイヤケーブルと同等以上の性能を有するものをご使用ください。(3心ケーブル $2.0\text{mm}^2 \sim 3.5\text{mm}^2$ 、仕上り外径 $\phi 10 \sim \phi 13$)
段調光加工品の場合、調光線は電源線と同様のケーブル以上の性能を有するものをご使用ください。(2心ケーブル $2.0\text{mm}^2 \sim 3.5\text{mm}^2$ 、仕上がり外形 $\phi 10 \sim \phi 13$)
連続調光加工品の場合、調光線はシールド付きのものでFCPEV相当 $\phi 0.9$ (または、 $\phi 1.2$)をご使用ください。
指定外ケーブルを使用されますと浸水による感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、 $-20 \sim 35^\circ\text{C}$ で使用してください。また、日中点灯は施工時の一時的な点灯確認のみとしてください。器具の耐用年数が短くなったり不点・火災の原因となります。
- 積雪地域でご使用の場合は、積雪期間、雪に埋もれないよう除雪してください。器具破損の原因となります。
- 寒冷地で使用する場合、つららが落ちると危険が生じるような場所には設置しないでください。つららが落ちることがある場合は、つららの除去を行ってください。つらら落下によるけがの原因となります。
- 冠水のおそれのある場所では使用しないでください。感電の原因となります。
- 器具上向き取り付けの場合は、水平から $\pm 5^\circ$ 以内に設置するとパネル面に水が滞留し内部結露が消えない原因となるため、使用できません。
- スイッチを接地側に取り付けた場合、ノイズにより消灯後もランプが薄暗く点灯する場合がありますので、必ず非接地側(電圧側)に取り付けてください。(接地側の無い電源では両切りスイッチをおすすめいたします。)
- 太陽光が直接当たるような照射方向に器具を設置しないでください。太陽光が集光し、LEDユニットの破損・不点・火災の原因となります。
- 器具の取り付け・取り外しは手袋など保護具を使用してください。けがのおそれがあります。
- 壁面/天井面への取り付けの際は、照射方向によって、ご使用できない場合があります。あらかじめお問い合わせください。照射方向によって、耐用年数が短くなったり浸水による感電・火災の原因となります。
- 使用を終了した製品は、放置せずに撤去してください。器具落下の原因となります。
- 2灯用の投光器台(DYKX05112:XDYK2200および6灯用投光器台XDYK2600の下段)に取り付けてご使用の場合、および4灯用投光器台(DYKX05114:XDYK2400および6灯用投光器台XDYK2600上段および8灯用投光器台XDYK2800)の内側に取り付けてご使用の場合、器具の照明角度により、可動範囲が制限されます。角度設計時にご注意ください。器具2灯をポール側に向けて設置する場合は、4灯用投光器台(DYKX05114)の両端側に器具を取り付けてください。※ルーバー取付時はポールとの干渉で可動範囲が狭くなります。

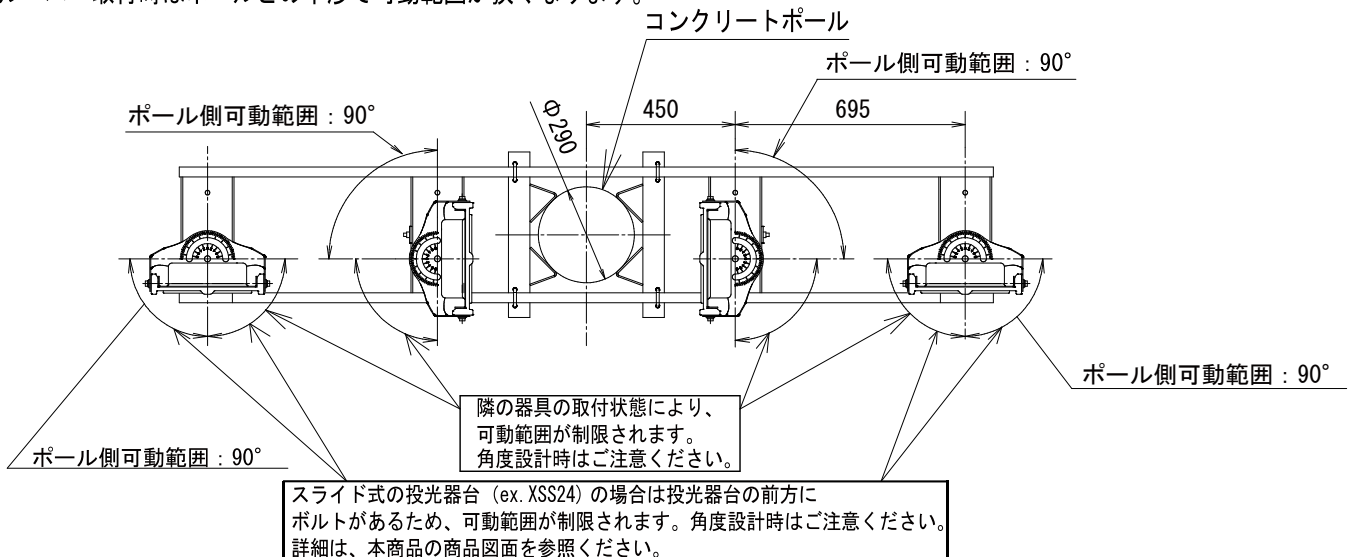


図3 投光器台に取り付け時の注意事項

警告

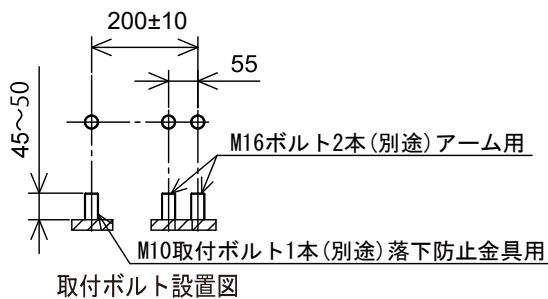
器具の取り付けは、施工説明書にしたがい確実に行う。
取り付けに不備があると器具の落下、感電・火災の原因となります。

寸法単位：mm

1. 取り付け前の確認を行う

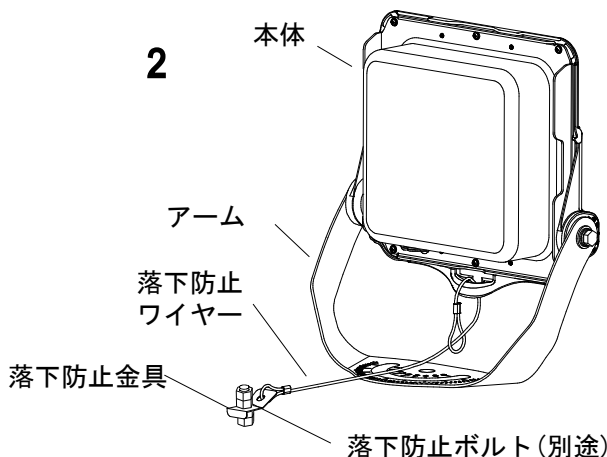
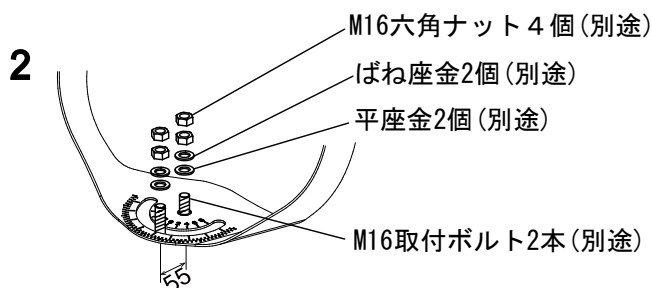
- 器具質量および風圧荷重に耐えるようにM16取付ボルト2本(別途)とM10取付ボルト1本(別途)を用意してください。
- 器具の取り付け、取り外しは手袋など保護具を使用する。けがのおそれがあります。
- 器具可動範囲については「6. 照射角度の調整」を参照してください。

1



2. 器具を取り付ける

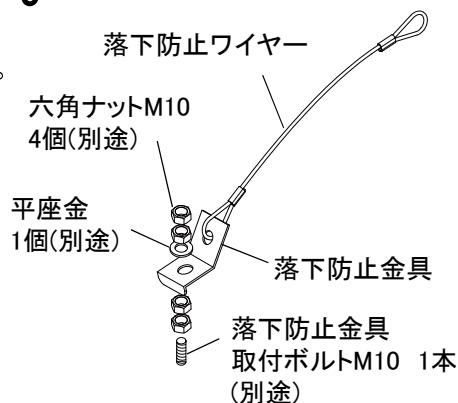
- 器具の固定は、平座金2個(別途)、ばね座金2個(別途)、M16六角ナット4個(別途)を使用し、M16取付ボルト2本(別途)にアームをダブルナットにて確実に締め付けてください。
(推奨締付トルク M16：106N・m)
- 不備がありますと落下の原因となります。



3. 落下防止金具を取り付ける

- 落下防止金具を落下防止金具取付ボルトM10(別途)にセットして平座金(別途)、ダブルナットM10(別途)にて確実に締め付け固定してください。
(推奨締付トルク M10：37N・m)
- 不備がありますと落下の原因となります。

3



各部のなまえと取付方法

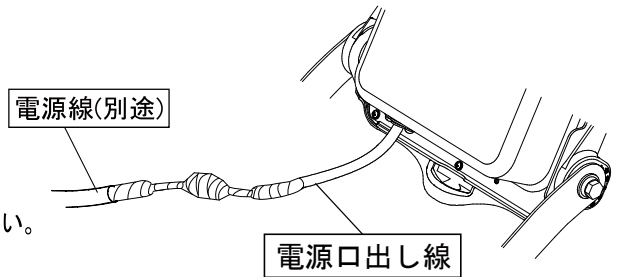


警告

器具の取り付けは、施工説明書にしたがい確実に行う。
取り付けに不備があると器具の落下、感電・火災の原因となります。

4 電源口出し線を接続する

- ・電源線（別途）の外装シースを約100mmむく。
- ・電源口出し線の接続は、スリーブ（別途）により確実に、自己融着テープ（別途）を巻いて処理後、絶縁テープ（別途）で処理する。
不備がありますと感電・火災・浸水の原因となります。
- ・電線を束ねて、シースの無い電源接続箇所からシースの部分まで、全体を自己融着テープなど（別途）で巻いてから絶縁テープなど（別途）を巻いて仕上げ、十分に絶縁・防水処理をしてください。
接続部は上向きとし、電線と電線の隙間から浸水しないようにしてください。
不備がありますと感電・火災・浸水の原因となります。
- ・口出し線の電源電線接続箇所に力がかからないよう張力止めを行うこと。
不備がありますと感電・火災・浸水の原因となります。
- ・D種（第3種）接地工事を確実にを行う。
- ・口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条にしたがうこと
- ・口出し線の種類 ビニルキャブタイヤケーブル
- ・電線の線径：1.25mm²



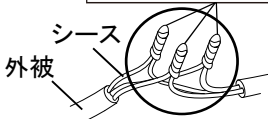
警告

接続、保護が不完全な場合、感電・火災の原因となります。

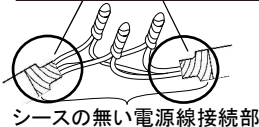
電源線と電源口出し線との接続方法

- ①スリーブ（別途）により接続後、自己融着テープ（別途）を巻き、絶縁テープ（別途）で仕上げてください。
- ②キャブタイヤケーブルの電線とシースの隙間から浸水を防ぐため、電源線（別途）と電源口出し線のシース端を自己融着テープ（別途）で巻き、絶縁テープ（別途）で仕上げてください。

スリーブ（別途）
自己融着テープ（別途）
+
絶縁テープ（別途）

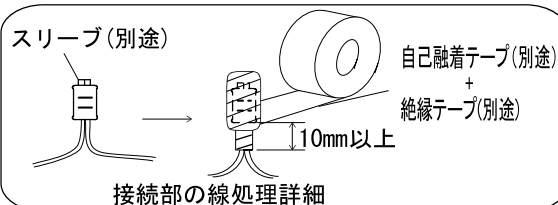
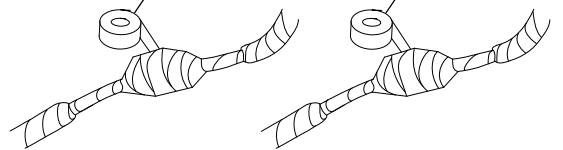


自己融着テープ（別途）
+
絶縁テープ（別途）

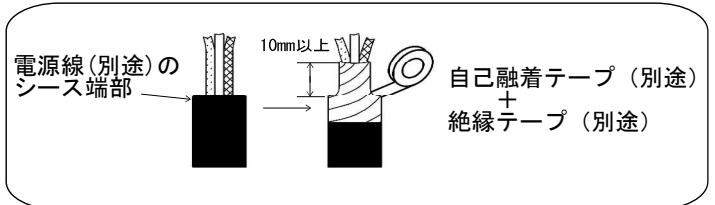


- ③自己融着テープなど（別途）で巻き、絶縁テープなど（別途）で仕上げてください。

自己融着テープなど（別途） 絶縁テープなど（別途）



※自己融着テープ（別途）を巻いて処理後、絶縁テープ（別途）で処理する



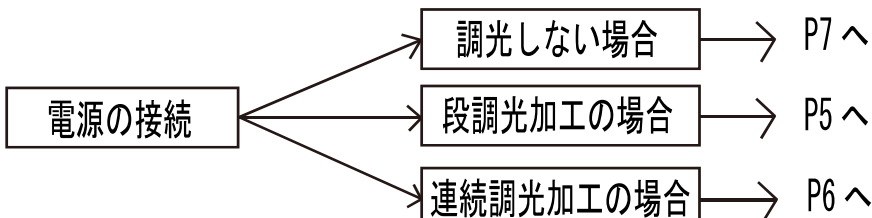
※自己融着テープ（別途）を巻いて処理後、絶縁テープ（別途）で処理する

- ・以下の結線方法は、いずれも口出し線接続部からの浸水の原因となります



接続部を下向きにせず 上向きにしてください シース端や線間の隙間についてもテープ処理を行ってください

- ・電源線の接続が完了した後、調光口出し線の接続作業は下記のフローにしたがい、ページに移動し、作業を行う。



各部のなまえと取付方法

5 調光口出し線を接続する

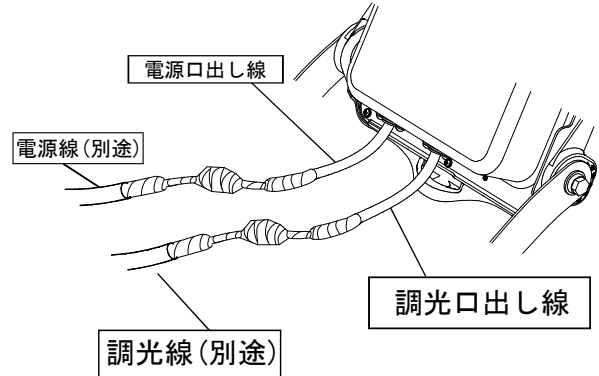
5-1 段調光加工の場合

- ・調光線（別途）の外装シースを約100mmむく。
- ・調光口出し線の接続はスリーブ（別途）により確実にを行い、自己融着テープ（別途）を巻いて処理後、絶縁テープ（別途）で処理する。
不備がありますと感電・火災・浸水の原因となります。
- ・電線を束ねて、シースの無い電源接続箇所からシースの部分まで、全体を自己融着テープなど（別途）で巻いてから絶縁テープなど（別途）を巻いて仕上げ、十分に絶縁・防水処理をしてください。
不備がありますと感電・火災・浸水の原因となります。
- ・口出し線の電源電線接続箇所に力がかからないよう張力止めを行うこと。
不備がありますと感電・火災・浸水の原因となります。
- ・口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条にしたがうこと
- ・口出し線の種類 ビニルキャブタイヤケーブル
- ・電線の線径：1.25mm²



警告

器具の取り付けは、施工説明書にしたがい確実にを行う。
取り付けに不備があると器具の落下、感電・火災の原因となります。



警告

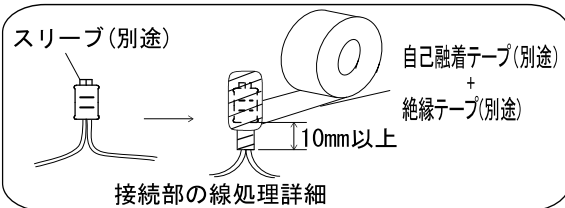
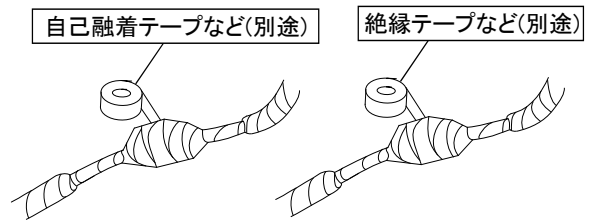
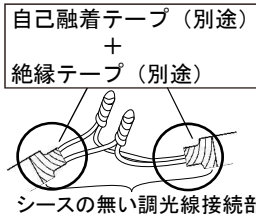
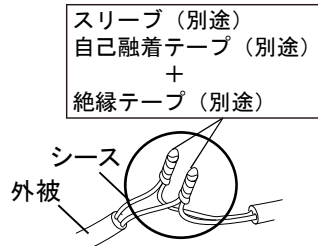
接続、保護が不完全な場合、
感電・火災の原因となります。

調光線と調光口出し線との接続方法

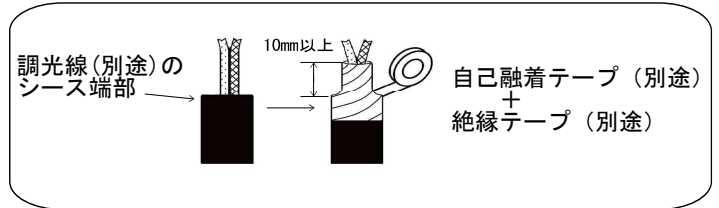
①スリーブ（別途）により接続後、自己融着テープ（別途）を巻き、絶縁テープ（別途）で仕上げてください。

②キャブタイヤケーブルの電線とシースの隙間から浸水を防ぐため、調光線（別途）と調光口出し線のシース端を自己融着テープ（別途）で巻き、絶縁テープ（別途）で仕上げてください。

③自己融着テープなど（別途）で巻き、絶縁テープなど（別途）で仕上げてください。

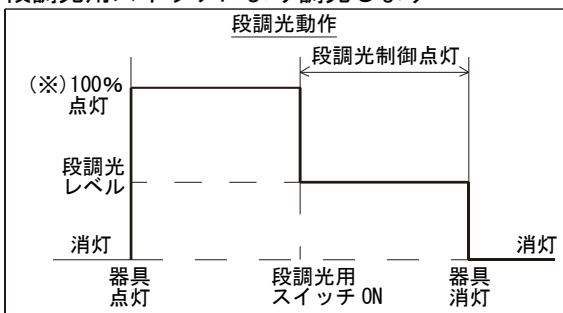


※自己融着テープ（別途）を巻いて処理後、
絶縁テープ（別途）で処理する



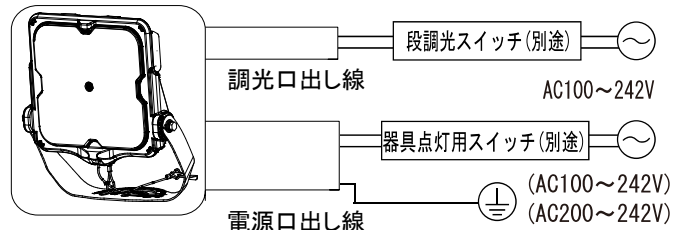
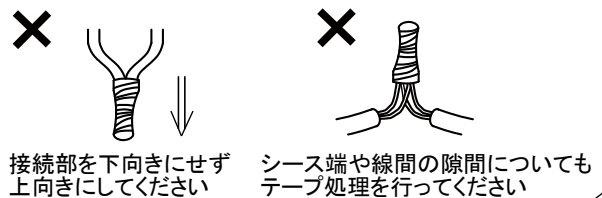
※自己融着テープ（別途）を巻いて処理後、
絶縁テープ（別途）で処理する

段調光動作 段調光用スイッチにより調光します



【ご注意】
※初期光束補正機能付の場合、定格光束の85%となります。

・以下の結線方法は、いずれも口出し線接続部からの
浸水の原因となります



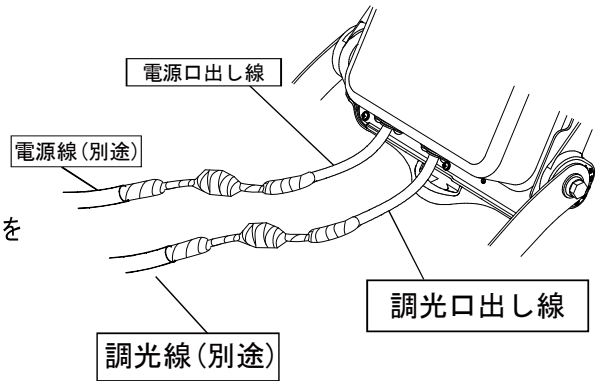
各部のなまえと取付方法

5-2 連続調光加工の場合

- ・調光線（別途）の外装シースを約100mmむく。
- ・調光線は、F0PEV相当φ0.9（またはφ1.2）をご使用ください。
- ・調光口出し線の接続はスリーブ（別途）により確実にを行い、自己融着テープ（別途）を巻いて処理後、絶縁テープ（別途）で処理する。
不備がありますと感電・火災・浸水の原因となります。
- ・調光線（別途）のシールド（またはドレインワイヤ）は調光口出し線のドレインワイヤと接続し、逆側のシールド（またはドレインワイヤ）を接地してください。
- ・電線を束ねて、シースの無い電源接続箇所からシースの部分まで、全体を自己融着テープなど（別途）で巻いてから絶縁テープなど（別途）を巻いて仕上げ、十分に絶縁・防水処理をしてください。
不備がありますと感電・火災・浸水の原因となります。
- ・口出し線の電源電線接続箇所に力がかからないよう張力止めを行うこと。
不備がありますと感電・火災・浸水の原因となります。
 - ・口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条にしたがうこと
 - ・口出し線の種類 シールド付ケーブル
 - ・電線の線径：φ0.9

警告

器具の取り付けは、施工説明書にしたがい確実にを行う。
取り付けに不備があると器具の落下、感電・火災の原因となります。



警告

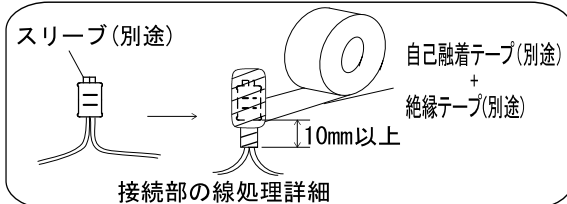
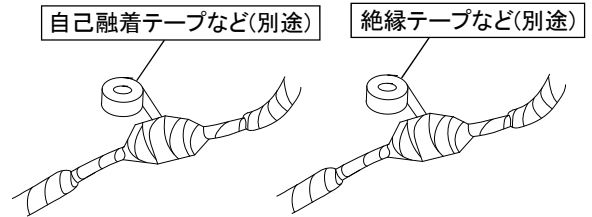
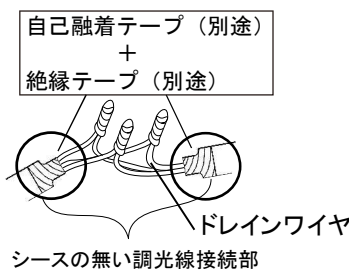
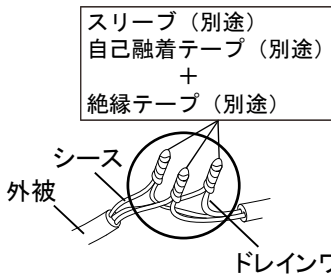
接続、保護が不完全な場合、
感電・火災の原因となります。

調光線と調光口出し線との接続方法

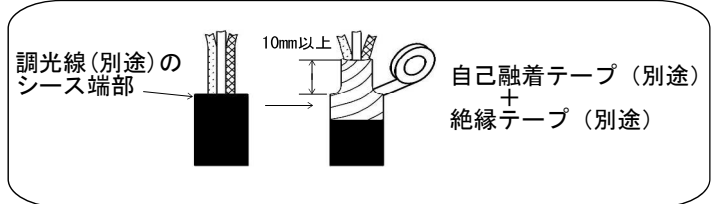
①スリーブ（別途）により接続後、自己融着テープ（別途）を巻き、絶縁テープ（別途）で仕上げてください。

②キャブタイヤケーブルの電線とシースの隙間から浸水を防ぐため、調光線（別途）と調光口出し線のシース端を自己融着テープ（別途）で巻き、絶縁テープ（別途）で仕上げてください。

③自己融着テープなど（別途）で巻き、絶縁テープなど（別途）で仕上げてください。

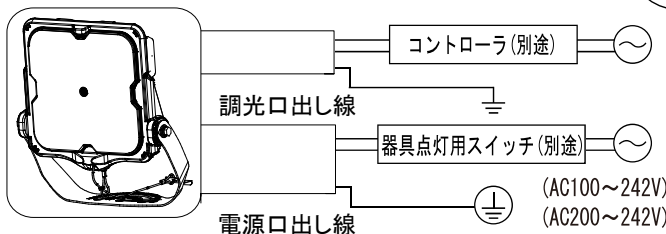
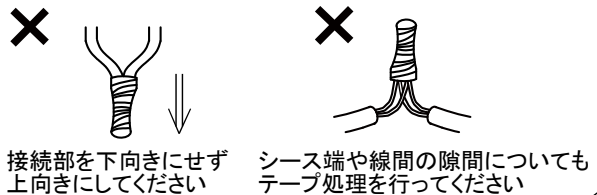


※自己融着テープ（別途）を巻いて処理後、絶縁テープ（別途）で処理する



※自己融着テープ（別途）を巻いて処理後、絶縁テープ（別途）で処理する

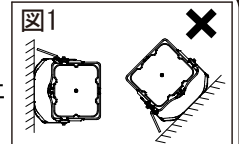
・以下の結線方法は、いずれも口出し線接続部からの浸水の原因となります



各部のなまえと取付方法

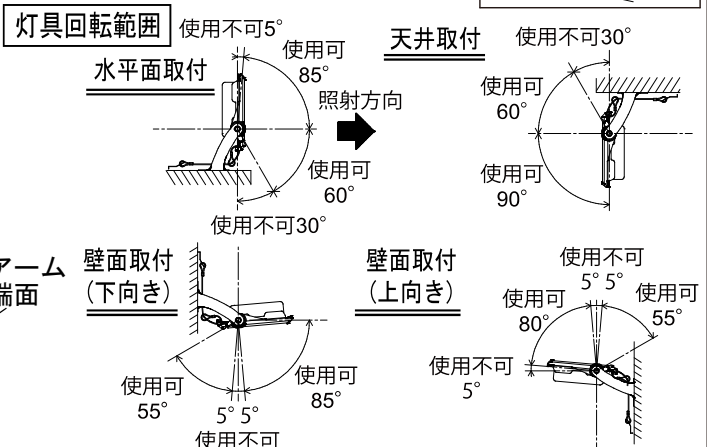
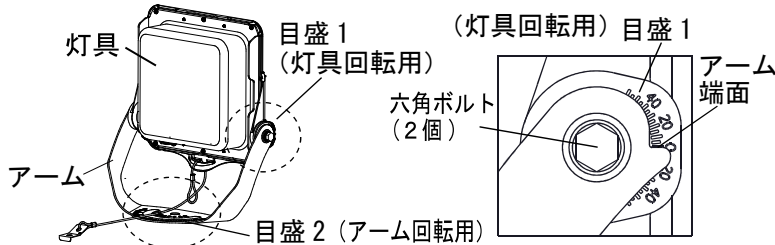
6. 照射角度の調整

- ・壁面(上下)、傾斜面取り付けの場合、横向き設置はしない。(図1)
- ・屋外で使用時、フィルタ側を水平上向きに設置しない。浸水による感電・火災の原因となります。
- ・器具上向き取り付けの場合は、水平から±5°以内に設置するとパネル面に水が滞留し内部結露が消えない原因となるため、使用できません。



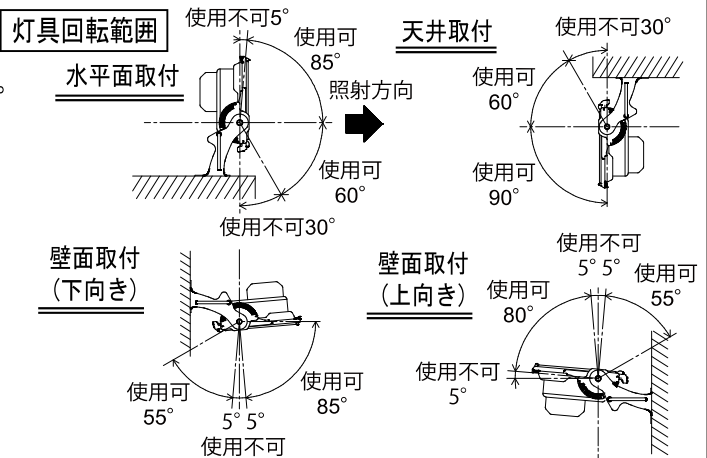
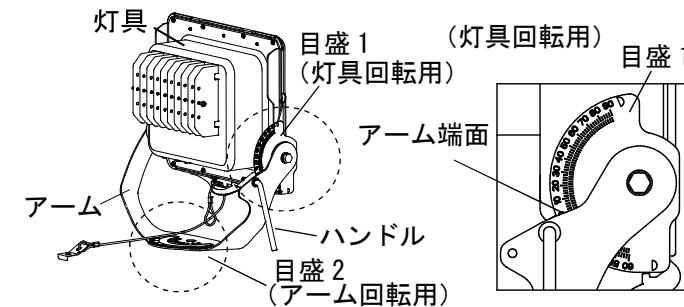
NYS35115K/35K/45K/55K、NYS35215K/35K/45K/55K

- ・灯具の回転角度調整は、灯具を手で支えながらアーム側面両側の六角ボルト(2個)をゆるめ、目盛1の角度に合わせた後、側面のボルトを確実に締め付けて固定する。(推奨締付トルクM10: 37N・m)
- 目盛1の目盛はアーム端面に合わせてください。
- 締め付けが不完全な場合、器具落下の原因となります。



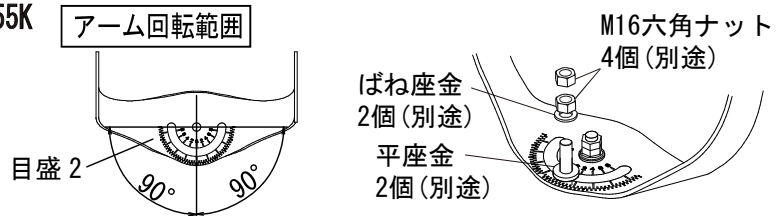
NYS35315/35/45/55、NYS35435/45/55

- ・灯具の回転角度調整は、灯具を手で支えながらハンドルをゆるめ、目盛1の角度に合わせた後、ハンドルを確実に締め付けて固定する。
- 目盛1の目盛はアーム端面に合わせてください。
- 締め付けが不完全な場合、器具落下の原因となります。



NYS35115K/35K/45K/55K、NYS35215K/35K/45K/55K NYS35315/35/45/55、NYS35435/45/55

- ・アームの回転角度調整は、M16六角ナット4個(別途)をゆるめ、目盛2の角度に合わせた後、M16六角ナット4個(別途)をダブルナットにて確実に締め付け固定する。
- (推奨締付トルクM16: 106N・m)
- 締め付けが不完全な場合、器具落下の原因となります。



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

安全に関するご注意

- ・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

警告

- 器具の改造および構成部品(LED、電源部など)の交換をしない。感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり変な臭いがあるなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。感電・火災の原因となります。
- 欠けやひび割れの発生しているパネルは使用しない。感電・落下の原因となります。
- 器具にボールなどの飛来物が衝突した場合は器具の点検を行い、破損などが生じた場合、直ちに使用を中止する。落下・感電・火災の原因となります。
- 被照射物とは100cm(狭角タイプの場合: 150cm)以上離す。過熱による火災の原因となります。
- 上向き照射する場合、パネル上の堆積物は定期的に取り除く。堆積物によって熱がこもり、堆積物の発火、パネルの変形や器具破損による浸水・感電・火災の原因となります。

注意

- お手入れの際には、必ず電源を切って器具が十分冷えてから行ってください。感電・やけどの原因となります。
- 積雪地域でご使用の場合は、積雪期間、雪に埋もれないよう除雪してください。器具破損の原因となります。
- 殺虫剤などの引火物の噴霧は行わないでください。発火によるやけどのおそれがあります。
- 布や紙などの燃えやすいもので覆ったり、被せたりしないでください。発火の原因となります。
- 寒冷地で使用する場合、器具の縁などにつららができることがあります。つららの除去を行ってください。つらら落下によるけがの原因となります。



⚠ 注意

- 照明器具には耐用年限があります。設置して10年※1経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をしてください。
※1使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
※1LED光源は光束維持時間が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。
点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
- LED照明器具の光束維持時間は60,000時間（光束維持率85%）です。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは耐用年限が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。
- 点検を行っていても、耐用の限度を超えて使用すると、火災・感電・落下などに至る場合があります。

使用上のご注意

- この照明器具の光源は交換しないでください。
- LEDを直視しない。目の痛みの原因となることがあります。
- LEDにはバラツキがあるため、LEDユニット内のLED個々および同一品番、シリーズ品番で発光色、明るさが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- LEDユニットは、設計上、LEDを搭載しておらず点灯しない部分があります。あらかじめご了承ください。
- 雨上がりなど、高温多湿環境時に内部結露する場合がありますが異常ではありません。
数日間、点灯・消灯を繰り返すことにより消滅しますので、あらかじめご了承ください。
- アームの溶融亜鉛メッキは製法上、液タレや液溜りが生じます。
際だった液タレ、液溜りは処理した後耐食性を維持するため部分的に補修塗装を行っています。
均一な仕上がりにはなりませんのであらかじめご了承ください。
- 器具上向き取り付けの場合は、水平から±5°以内に設置するとパネル面に水が滞留し内部結露が消えない原因となるため、使用できません。

保証について

- 1: 保証について
この商品の保証期間は1年間です。但し、LED電源は3年間です。消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 2: 保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 3: 補修用性能部品(電気部品)について
弊社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れについて

- 器具の清掃について・・・汚れを落とす場合は、石けん水にひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
アルカリ系洗剤、シンナー、ベンジンでふかないでください。
変色・変質の原因となります。
強い水圧をかけての清掃はしないでください。
感電の原因となります。

⚠ 注意

- 必ず電源を切って行ってください。
感電・やけどの原因になります。

定 格

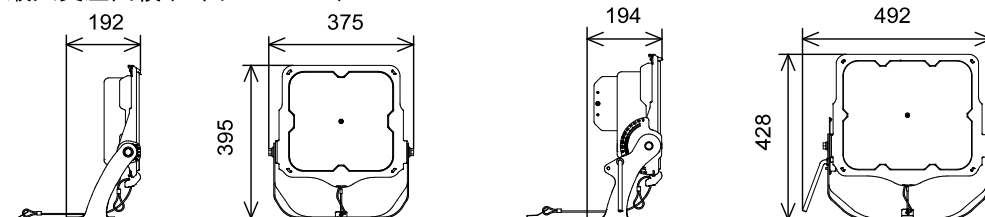
| 品番 | 定格電圧 | 入力電流 | 消費電力 | 周波数 |
|---|--------|-------|-------|---------|
| NYS35115KLE9 | AC100V | 1.00A | 99.4W | 50/60Hz |
| | AC200V | 0.50A | 98.3W | |
| | AC242V | 0.41A | 97.6W | |
| NYS35135KLE9,NYS35145KLE9 NYS35155KLE9 | AC100V | 0.99A | 98.4W | |
| | AC200V | 0.49A | 97.6W | |
| | AC242V | 0.41A | 97.0W | |
| NYS35215KLE2 | AC200V | 0.67A | 132W | |
| | AC242V | 0.55A | 132W | |
| NYS35235KLE2,NYS35245KLE2 NYS35255KLE2 | AC200V | 0.72A | 143W | |
| | AC242V | 0.60A | 143W | |

| 品番 | 定格電圧 | 入力電流 | 消費電力 | 周波数 |
|--|--------|-------|------|---------|
| NYS35315LE2 | AC200V | 1.03A | 203W | 50/60Hz |
| | AC242V | 0.85A | 203W | |
| NYS35335LE2,NYS35345LE2 NYS35355LE2 | AC200V | 0.98A | 194W | |
| | AC242V | 0.81A | 194W | |
| NYS35435LE2,NYS35445LE2 NYS35455LE2 | AC200V | 1.21A | 240W | |
| | AC242V | 1.00A | 238W | |

器具外形寸法図

NYS35115K/35K/45K/55K
NYS35215K/35K/45K/55K
最大受圧面積(正面: 0.100m²)

NYS35315/35/45/55
NYS35435/45/55
最大受圧面積(正面: 0.131m²)



■リサイクル 照明器具を廃棄する場合は、法に基づいて適切に処理してください。

パナソニック エレクトリックワークス株式会社 〒571-8686 大阪府門真市門真 1048

お問い合わせ先 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>

0120-187-441(フリーダイヤル)【受付時間】月～土/9:00～18:00(祝日・三が日を除く)※携帯電話からもご利用になれます。

0120-872-460(FAX)